

あすなる

第52号

お問い合わせ先
中田地区振興会
新和町中田2270-5
☎ 0969-46-2447

【中田の人口】
人口187人
(男 86人)
(女 101人)
世帯数113戸
高齢者144人
(65歳以上)
高齢化率
77.01%
令和7年5月末

【中田地区振興会HP】



**新和まちづくり
活動ポイント事業スタート!**
地域活動に参加してポイントと
賞品をゲットしましょう。
※この機会に【天草のきりー】
に登録しましょう!

令和7年度 中田地区振興会総会を開催

〜安心・安全な地域づくりへ〜

令和7年度中田地区振興会総会が5月19日(月)、中田地区コミュニティセンターで開催され、地域住民や関係者が多数参加した。

総会では、第1号議案「令和6年度事業報告及び決算報告」および第2号議案「令和7年度事業計画(案)及び予算(案)」が審議され、いずれも原案どおり可決された。

今回の総会では、令和7年度の新規事業「新和まちづくり活動ポイント事業」についての事業内容の説明が行われ、併せてふるさと納税の推進に関するプレゼンテーションも実施された。地区振興会の財源確保に向けた住民の協力が呼びかけられた。参加した関係者の一人は「ふるさと納税は、地域の活動資金として重要な財源です。住民一人ひとりがその意義を理解

し、積極的に協力していくことで、持続可能な地域づくりが可能になります」と語った。
少子高齢化が進む中、振興会は地域コミュニティの育成を軸とした福祉・防災の充実を目指し安心安全なまちづくりを推進する方針を示した。
今後、住民同士の支え合いを強化し、誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりに向けた取り組みが進められる予定だ。



【振興会総会の様子平野会長挨拶】

地域の文化を守り、歩いて楽しむ♪ 中田八十八ヶ所ウォーク大会開催

「中田八十八ヶ所ウォーク大会」が3月30日(日)開催され、地域住民31人が参加した。この大会は、地域の文化財を巡りながら健康促進を図ることを目的とした初開催のイベント。参加者は、天草八十八ヶ所四十五番札所「中田大師堂」の裏山点在するお地藏様を巡礼し、その後、村中区の「菅原神社」を目指して歩いた。道中では、かつての暮らしや地域の歴史について語り合いながら楽しい時間を過ごした。

大会に先立ち、多くの先人たちが建立し、守り続けてきた聖地である霊場を巡りながら地域住民が協力して山中に点在するお地藏様の手入れと参道の整備を行った。歴史ある文化財を守るための活動も兼ねた大会でもあった。
大会後は、入江公園で桜の下での抽選会とお花見交流会が開かれ、地域住民も参加して満開の桜のもとで地区振興会が振舞った豚汁と持ち寄りたご馳走に舌鼓を打ち親睦を深めた。参加者の一人は「地域の歴史に触れながら楽しく歩けるのが嬉しい。桜も満開で最高!」と笑顔で語った。
主催する中田地区振興会では「今後とも地域の文化と自然を守りながら、ウォーキングを通じた交流の場を提供したい」と話している。



【八十八ヶ所ウォークの様子】



【お花見交流会の様子】

天草市一斉避難訓練 防災訓練と地域づくりを一体で推進 ～実践的な防災活動に加え、地域振興の新事業とふるさと納税PR～

天草市の一斉避難訓練にあわせて、6月8日（日）中田地区で地域防災訓練が実施された。午前9時、防災無線のサイレンを合図に、住民たちは速やかに中田地区コミュニティセンターへ避難。今回の訓練では、大雨による土石流および浸水災害を想定し、地域住民の防災意識の向上と実践力の強化を目的とした多彩なプログラムが展開された。

避難完了後は、社会福祉協議会新和支所の蓑田ゆかり支所長の指導により、炊き出し訓練が行われた。訓練では、ハイゼックス袋に無洗米と水を入れ、湯せんによってご飯を炊く非常時の調理方法が紹介され、参加者は実際にその手順を体験した。その後、防災講話や簡易ベッド・仮設トイレの組み立てと現物展示による説明も行われ、災害時の避難所生活を具体的にイメージできる貴重な学びの場となった。

その一方で、別室では行政区長及び関係者により「災害時避難行動要支援者名簿」の見直し作業が並行して行われ、地域の実情に即した支援体制の再確認が進められた。

訓練の終盤には、出来上がった非常食を参加者全員で試食。災害時に備えた食の重要性について改めて認識が深まった。

さらに今回は、地区振興会の平野会長によるプレゼンテーションも実施され、地域の新規事業「新和まちづくり活動ポイント事業」の紹介に加え、ふるさと納税の推進に向けた協力の呼びかけも行われた。

今回の防災訓練は住民の関心も高く、地域の活性化に向けた取組みにも期待が寄せられた。参加者からは「災害時の調理法を実際に体験でき良かった」「展示がわかりやすく、備えの重要性を実感した」といった感想が寄せられ、今回の防災訓練を通じて中田地区の防災力と地域の結束が一層高まる結果となった。



【ハイゼックス袋での準備説明】 【米と水を袋に入れ輪ゴムでしばって！】【沸騰したお湯の中へ入れて約30分位】



【和室で避難行動要支援者名簿見直し作業】【皆さんで試食しました(*^-^*)】 【新規事業紹介・ふるさと納税の推進】



天草市消防団第1分団第1部（中田消防団）の活動と今後の課題について

部長 齊藤英昭

昨今、全国的にも大規模な林野火災等が報道され、中田地区の防火防犯意識の向上が求められています。幸い中田地区は、梅雨時期の大雨や台風等の影響も少なく、活動の機会もありません。しかし、50歳代の新入団員の確保も困難であり、今後の活動に不安を抱えています。若者の世代の消団員は、高齢化が進むにつれて減少傾向にあります。地域防災力の向上のため、消団員としての活動の場を確保し、地域防災力の向上を図りたいと考えています。

政治や地域の防災のため、行政や振興会、消防団が連携して活動を行うことが重要です。また、地域振興や防災の推進に貢献したいと考えています。

活動の場を確保し、地域防災力の向上を図りたいと考えています。

地域の絆深まる！ 中田地区グラウンドゴルフ大会

中田地区グラウンドゴルフ大会が5月25日(日)、中田地区グラウンドで開催された。前日からの雨の影響でグラウンドコンディションが悪化したものの、関係者の努力により排水処置が施され、無事に大会が実施された。

開会式は予定より30分遅れ、コミュニティセンター玄関前で行われた。竹本幸廣副会長が開会の言葉を述べ、無田保幸活動交流部会長(大会長)が「グラウンドコンディションが不良ですが今日は楽しんでください。」と参加者に向けて挨拶し大会への期待が高まった。

競技が開始されると、グラウンドの状態が悪い中でも、各チームが熱戦を繰り広げた。ホールインワンが出るたびに大きな歓声上がり、終始にぎやかな雰囲気の中でプレーが楽しめた。参加者は初心者から経験者まで幅広く、和やかな交流の場となった。

閉会式では、団体の部・個人の部の入賞者への表彰が行われたほか、ホールインワン賞や特別賞として会長賞が贈られた。さらに、参加者が楽しみにしていた「お楽しみ抽選会」が行われ、当選者が発表されるたびに歓声が沸き、大会の盛り上がりは最高潮に達した。

大会の最後には地区振興会の平野会長が「これからも地域の皆様とともに親睦と融和を深めていきましょう」と挨拶し、盛況のうちに大会が締めくくられた。参加者からは「グラウンドは厳しい条件であったが楽しくプレーできた。」「地域の人と交流できて良かった。」などの声が聞かれ、充実した1日となった。今回も多くの方々協力により、無事に大会を終えることができました。これからもグラウンドゴルフを通じて、地域の交流を深めていきたい。



【ホールインワンねらって(*^_^*)♪】



【団体優勝おめでとうございます！】

みなさん
お楽しみ抽選会

団体賞	1位	港区	港区
努力賞	2位	村中	村中
個人の部	1位	池田	池田
3位	平木	平木	平木
2位	西富	西富	西富
1位	竹本	竹本	竹本
ブービー賞	西富	西富	西富
会長賞	国見	国見	国見
	夕子	夕子	夕子

団体・個人表彰



「育ててくれた地域へ」～感謝の心 不織布マスク2万枚を寄贈

3月5日(水)、大型トラックにより兵庫県神戸市の株式会社ヒョウコウ(代表取締役 杉本拓也氏)から、中田地区振興会へ不織布マスク2万枚が寄贈された。

振興会はこの支援を受け、まず地域住民へ配布を実施。各世帯に対し、1人1箱(50枚入り)を配布し、感染予防対策の一助となった。高齢化が進む中田地区において、こうした支援は住民の安心につながるものとなった。さらに、振興会は地域の学校にも支援の手を差し伸べ、インフルエンザの流行が懸念される新和小学校および新和中学校へ、それぞれ2千枚のマスクを寄贈。学校関係者や児童生徒から深く感謝の意が示された。

この取り組みにより、地域全体で感染対策への意識が高まり、支援の輪が広がることとなった。株式会社ヒョウコウの厚意に対し、地域住民・教育関係者からは感謝の声が寄せられている。

伝統行事「鬼火焼き」 ～地域住民の協力で盛大に開催～

毎年恒例の伝統行事「鬼火焼き」が1月5日(日)、中田入江公園で、地域住民の協力のもと開催された。

午前中から参加した住民の方々は孟宗竹を数本を立て、やぐらを組み立てる作業に取り組んだ。そして午後1時、年男である大堂眞幹さんが点火すると、炎は勢いよく燃え上がり、会場は一層の熱気に包まれた。各家庭から持ち寄せられた正月飾りや昨年のしめ縄が次々と火にくべられ、厄払いの願いとともに炎が高く舞い上がる様子は壮観だった。また、地区振興会による温かいぜんざいと豚汁の振る舞いもあり、参加者は冷えた体を温めながら、新年の健康と幸福を祈る時間を過ごした。



【立派なやぐらができました(*^_^*)】

